

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	ほどがや市民活動センター アワーズ																													
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 横浜市民アクト																												
	行政	横浜市																												
事業の目的	市民活動及び生涯学習の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。																													
事業の内容	(1) 活動場所の提供 (2) 情報の提供 (3) 相談・コーディネート (4) 講習会・研修会などの自主事業 (5) その他市民活動及び生涯学習推進に必要な支援																													
役割及び責任分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>受託者の役割</th> <th>委託者の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託者・委託者が共に果たす役割</td> <td colspan="2">           ◎事業運営に関する情報共有            ◎定期的な共同会議の実施            ◎第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討         </td> </tr> <tr> <td>施設及び設備の維持管理に関すること</td> <td>           ◎設備の管理、保守・点検            ◎軽微な維持管理            ◎単年度の修繕計画の立案         </td> <td>           ◎設備の提供            ◎設備管理に関する調整及び協力            ◎中・長期の施設運営計画の検討         </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">運営全般に関すること</td> <td>場所提供</td> <td>◎利用しやすい雰囲気、ルール作り</td> <td>◎施設利用方法等について受託者と協議し、方針を決定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動支援</td> <td>市民・団体向け</td> <td>           ◎相談対応による市民ニーズや課題の把握            ◎把握した課題等の解決に向けた助力の提供            (情報提供、適切な機関や人へのつなぎ、団体支援等)         </td> <td rowspan="2">           ◎課題解決に必要な行政情報等の提供            ◎把握した課題等を施設・事業運営へ反映するための方針決定         </td> </tr> <tr> <td>区内施設向け</td> <td>地域コーディネートにおける相談窓口</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業に関すること</td> <td>事業全般</td> <td>           ◎市民活動に関する情報を収集・整理・提供            ◎広報紙の発行            ◎ホームページの開設、運営         </td> <td>           ◎区広報紙面確保等、広報機会の協力            ◎行政情報等の提供            ◎事業運営への協力         </td> </tr> <tr> <td>自主企画事業</td> <td>           ◎活動入門事業の実施            ◎個人・団体同士の交流、ネットワーク構築事業の実施            ◎活動支援・人材育成につながる事業            ◎区民利用施設同士の交流・情報共有を図る事業         </td> <td>           ◎事業実施の支援            ◎関係機関との連絡調整            ◎ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供         </td> </tr> <tr> <td>地域人材ボランティアバンク（街の学習応援隊）</td> <td>           ◎登録者の管理            ◎区内活動団体、施設への紹介            ◎PR・交流の機会提供         </td> <td>◎事業運営への協力</td> </tr> </tbody> </table>		事業項目	受託者の役割	委託者の役割	受託者・委託者が共に果たす役割	◎事業運営に関する情報共有 ◎定期的な共同会議の実施 ◎第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討		施設及び設備の維持管理に関すること	◎設備の管理、保守・点検 ◎軽微な維持管理 ◎単年度の修繕計画の立案	◎設備の提供 ◎設備管理に関する調整及び協力 ◎中・長期の施設運営計画の検討	運営全般に関すること	場所提供	◎利用しやすい雰囲気、ルール作り	◎施設利用方法等について受託者と協議し、方針を決定	活動支援	市民・団体向け	◎相談対応による市民ニーズや課題の把握 ◎把握した課題等の解決に向けた助力の提供 (情報提供、適切な機関や人へのつなぎ、団体支援等)	◎課題解決に必要な行政情報等の提供 ◎把握した課題等を施設・事業運営へ反映するための方針決定	区内施設向け	地域コーディネートにおける相談窓口	事業に関すること	事業全般	◎市民活動に関する情報を収集・整理・提供 ◎広報紙の発行 ◎ホームページの開設、運営	◎区広報紙面確保等、広報機会の協力 ◎行政情報等の提供 ◎事業運営への協力	自主企画事業	◎活動入門事業の実施 ◎個人・団体同士の交流、ネットワーク構築事業の実施 ◎活動支援・人材育成につながる事業 ◎区民利用施設同士の交流・情報共有を図る事業	◎事業実施の支援 ◎関係機関との連絡調整 ◎ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供	地域人材ボランティアバンク（街の学習応援隊）	◎登録者の管理 ◎区内活動団体、施設への紹介 ◎PR・交流の機会提供
事業項目	受託者の役割	委託者の役割																												
受託者・委託者が共に果たす役割	◎事業運営に関する情報共有 ◎定期的な共同会議の実施 ◎第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討																													
施設及び設備の維持管理に関すること	◎設備の管理、保守・点検 ◎軽微な維持管理 ◎単年度の修繕計画の立案	◎設備の提供 ◎設備管理に関する調整及び協力 ◎中・長期の施設運営計画の検討																												
運営全般に関すること	場所提供	◎利用しやすい雰囲気、ルール作り	◎施設利用方法等について受託者と協議し、方針を決定																											
	活動支援	市民・団体向け	◎相談対応による市民ニーズや課題の把握 ◎把握した課題等の解決に向けた助力の提供 (情報提供、適切な機関や人へのつなぎ、団体支援等)	◎課題解決に必要な行政情報等の提供 ◎把握した課題等を施設・事業運営へ反映するための方針決定																										
		区内施設向け	地域コーディネートにおける相談窓口																											
事業に関すること	事業全般	◎市民活動に関する情報を収集・整理・提供 ◎広報紙の発行 ◎ホームページの開設、運営	◎区広報紙面確保等、広報機会の協力 ◎行政情報等の提供 ◎事業運営への協力																											
	自主企画事業	◎活動入門事業の実施 ◎個人・団体同士の交流、ネットワーク構築事業の実施 ◎活動支援・人材育成につながる事業 ◎区民利用施設同士の交流・情報共有を図る事業	◎事業実施の支援 ◎関係機関との連絡調整 ◎ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供																											
	地域人材ボランティアバンク（街の学習応援隊）	◎登録者の管理 ◎区内活動団体、施設への紹介 ◎PR・交流の機会提供	◎事業運営への協力																											
実施期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで																													

記入日	令和 5 年 4 月 4 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 特定非営利活動法人 横浜市民アクト ・記入責任者 氏名： 北川 有紀 連絡先： 045-334-6306
	[行政] ・部署名： 保土ヶ谷区地域振興課 ・記入責任者 氏名： 金子 強 連絡先： 045-334-6307

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・評議会を通して、事業を的確に評価し次に活かすため、主催、協力及び協働事業の分けを明確にする必要があることを共有できた。</li><li>・年間スケジュールや目的、対象の設定について、属人的でない事業計画が必要である点についても認識に違いがあったが、考え方を整理することができた。</li><li>・施設訪問に同行したことで、各施設の実情や意見を共有して事業計画に生かすことができた。</li><li>・体制変更とコロナ禍が地域社会に及ぼした影響が十分に把握できない中でやり取りを重ね、契約書も見なおす議論をし、これまで議論が不十分であった認識の違いを確認できたことが成果であった。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・生涯学習事業と市民活動事業の比重について（市民の主体性を促し、自立を支援する。）。</li><li>・今後の事業を発展させていくためにも、相互の課題や目的・ビジョンの共有と意見交換を重ね、時代の変化に合わせた事業計画と評価方法の模索が必要になると思われる。</li><li>・目的意識を共有し協働の姿勢について議論した上で、実践に向かうための役割分担の議論を重ねたい。</li></ul>
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・多様な講座やイベントを行う中で、明らかになりつつある市民のニーズを共有できた。</li><li>・施設職員向け研修や「ほどガヤ会議」では、共に企画会議を行うことで、事業の目的や内容について事前に共有することができた。</li><li>・担当者の尽力があり、これまでできていなかった一時保管倉庫の片付けや備品リストの精査が進んだ。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・多くのスタッフが事業の企画や運営ができる体制を整え、属人化しない事業の組み立てが必要。</li><li>・現在は、生涯学習（はぐくみ塾）への協力を重点を置いているが、活動支援センターの強みをより活かすため、活動団体の伴走支援（区民企画型講座）へ重点をシフトしていく。</li><li>・個別事業の協働について、参加や見学に留まらないような環境をつくるための役割分担の議論が必要。</li><li>・実際に地域で活動している市民団体の声を聞き真のニーズを捉えるため、区役所・アワーズ・協働運営会議の3者が揃った意見交換の場や、日常的に顔を合わせる関係づくりが改めて重要である。</li></ul>
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・参加者に楽しんでもらう、という成果はどの事業においてもずいぶん前から果たしている。  
「楽しい」のその先の成果を明確にし、共有したい。
- ・「ほどガヤ会議」では、地域振興課施設担当や福祉保健課職員の参加もあり、日頃の担当を越えて市民と対等な関係で話し合いをする体験を共有することができた。
- ・夏のインターン生受入れ時の資源選別センターと金沢工場の見学対応をはじめ、資源循環担当および保土ヶ谷事務所の協力のもと、定例のそうじ活動も多様な参加者が集う場になった。

#### 自由記入欄

- ・これまでの施設職員向け研修や自主事業の積み重ねでできた信頼関係や、その後の事業につながる種となる小さな取り組みは、報告書等の表向きには見えないもので、そうした水面下で生まれた連携を、各職員がアンテナを張って捉えていく努力と、丁寧な情報交換がますます必要になると感じる。